

2023年統一地方選挙 アンケートに対する回答

北海道議会議員 高橋 亨

※アンケートをいただきましたが、択一的なアンケートは、私の「意思が伝わらずに誤解を生む場合が有りますので、文書にて回答致します。

Q1に対する回答

北海道開拓の歴史への評価については、様々な立場で相当の違いが生じるものです。

過去のどのような歴史も、受け止める方の歴史観によって180度の違いさえあることは、この間の様々な文献や歴史家などによって私たちに示されています。

そして、歴史は勝者や統治者にとって都合の良い方向へ導くことも可能です。

私は、北海道の開拓の歴史は、単に江戸時代の後期から明治にかけてだけではなく、有史期や縄文、その後のアイヌも含めた北方系民族の、長い居住時代から見ていくべきだと思っています。

Q2に対する回答

北海道100年記念塔の解体が、開拓の象徴となっている事が背景に有るとは考えていません。

高橋はるみ前北海道知事が、危険が指摘され立ち入りが禁止されている塔について、解体すべきか、手を加えて維持すべきか、専門家に検討を依頼し、歴史的意義や、様々な方々の寄付金で建立された経過、地域でのシンボル性、維持した場合の今後の負担、等を総合的に検討した結果を基に、道政の執行者として「解体」について関係委員会に説明し、議会に諮った結果、知事与党を中心として同意した結果だと思っています。

Q3に対する回答

説明を十分尽くしたか、説明が足りないか、という事で括られない内容だと思っています。

反対の方はどのような説明を受けても、反対でしょう。それは、心情から発せられるものが基本にあり、そのために反論を構築するものです。

また、この件は全国に説明するものではなく、説明の対象は道民だと思っています。

道は、科学的見地や様々な可能性というエビデンスに基づき説明されたと思っています。

Q4に対する回答

道の監査での結論、関係訴訟での結論は既に一度出されたと認識しています。

解体差止請求は、敗訴しても訴訟人を替え、訴訟内容の視点の変えて再請求すればそれだけ時間を要することになりますが、道は、既に問題は解決済みと判断して解体を始めたもので、法的には問題が無いものと考えます。

Q 5 に対する回答

訴訟で差し止めの判断が出た場合でも、私は被告人では有りませんから、上告するかどうかは、被告人である道が判断すべき問題であり、私はコメントすべき立場にはありません。道議会では関わる訴訟の支出に対する判断が求められるかも知れませんが、道議会が解体に対して同意した経過から、支出が問題になるとは考えられません。

Q 6 に対する回答

まず、日夜、保存活動を精力的に展開しておりますご努力に敬意を表します。

「北海道百年記念塔」につきましては、当時の建設に関わる道民の思いや浄財など、その経過については私なりに認識しています。

また、皆さんが、建設から五〇年を経た現在においても、北海道の歴史的遺産そしてランドマークとして保存したいとお気持ちも否定するものではありません。

一方、北海道命名一五〇年記念事業の計画以前から記念塔の保存や解体など、道民には様々なご意見がある事も承知しています。

先ほど述べましたが、現在の記念塔を恒久的に保存するには抜本的な全面補修が必要となり、多額の費用の支出も視野に入れなければならず、改修に至ったとしても、恒久的に維持するための費用が必要となってまいります。

北海道は、これまでも恒常的に非常に厳しい財政状況に置かれており、道債も約六兆円にも膨らみ、財政健全化対策も進めておりますが、新たな行政ニーズも増え続け、道民の生活と健康を維持することや産業の振興、人口減対策など喫緊に対策を講じなければならない施策が山積しています。

「貧すれば鈍する」ではありませんが、「大切にしなければならない心情」より目の前の対策が優先せざるを得ないことは悲しいことです。

しかし、現実に関心を向けてこれらに対処しなければならないのも、私たちの任務だと思います。